

# 和泉市いずみの国歴史館平成22年度特別展

# 和泉国誕生

— 平城遷都1300年!和泉国のはじまりを探る! —

平成22年10月9日(土) ~ 12月12日(日)

## 記念講演

10月10日(日)

栄原永遠男(大阪市立大学特任教授)「和泉と都をつなぐもの」

## 歴史講座

10月17日(日)

土屋みずほ(大阪府教育委員会)「和泉寺跡の発掘調査」

11月14日(日)

千葉太朗(和泉市教育委員会)「国府はどこにあったのか?大園遺跡v.s.府中遺跡」

## 古文書講座(入門編)

11月21日(日)・12月5日(日)・12月12日(日)

講演会、講座とも、午後1時30分~3時30分

いずみの国歴史館(まなびのプラザ会議室)にて

聴講無料。定員80名(事前申込不要、当日先着順)

(古文書講座は、11月5日(金)から電話受付先着50名)

## 和泉市いずみの国歴史館

〒594-1152 和泉市まなび野2番4号

TEL・FAX 0725-53-0802

E-mail:rekishikan@coda.ocn.ne.jp

休館日：月曜日(祝日は開館)・祝日の翌日

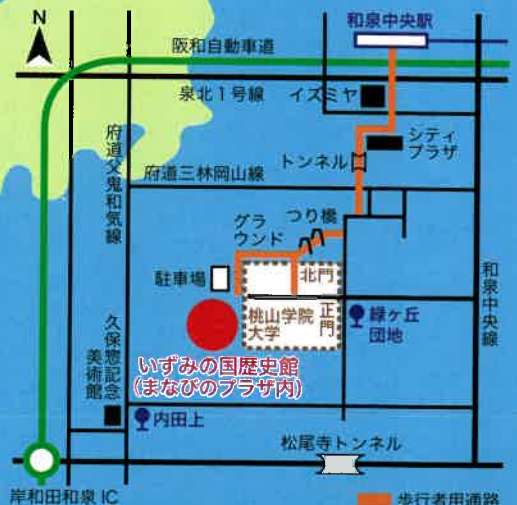
時間：午前10時~午後5時(入館は午後4時30分)

入館料：大人200円(160円)・大高生100円(80円)

※( )は20名以上の団体料金

65歳以上、中学生以下、障がい者(介護者1名含む)は無料

※「関西文化の日」11月20日(土)・21日(日)は無料



# 和泉国誕生

～平城遷都1300年! 和泉国のはじまりを探る!～

「あおによし」と形容された奈良の都が栄えた時代は、シルクロードを通じて異国の珍しい文物がもたらされ、東大寺が建立されて仏教文化が栄え、律令国家が整えられました。おおよそ100年ほどの短い間に、日本の原像が築かれました。

本年は平城京に都が移されてちょうど1300年にあたります。「和泉国」は平城遷都より遅れること半世紀、757年に正式に「国」となりました。律令で定められた国の中で、もっとも新しく成立した国の一つです。しかし、それ以前から、和泉と奈良の都は深い関係を結んでいました。例えば平城京の貴族が使う食器や寺院で使われる仏具が、和泉の須恵器窯で焼かれ都に運ばれていました。都からは進んだ仏教文化が和泉にもたらされ、市内に多くの古代寺院が建立されました。さらに和泉に離宮が設けられ、元正天皇や聖武天皇が訪れています。

近年の発掘調査により、市内では奈良時代に関する新知見がたくさん得られています。和泉を代表する豪族名が書かれた瓦も出土し、当時の氏族の実態がおぼろげながら見えてきました。

そこで、平成22年度特別展では、奈良時代の和泉にスポットをあて、平城京と和泉国の関わりを改めて探ります。また、府中町にあったといわれながら、実態のわからない和泉国府は本当はどこにあったのか?新資料を交えて、国府の実態にも迫ります。



和泉寺跡 文字瓦(大阪府教育委員会)



弥勒菩薩坐像(観福寺)

大同五年七月十六日光□五□□□



万町北遺跡 木簡(和泉市教育委員会)

謹啓志紀殿欲講稻具□



KM302号窯跡 須恵器(和泉市教育委員会)

## 主な展示品

- 平城宮跡
- 大園遺跡
- 大園遺跡
- 府中遺跡
- 万町北遺跡
- 須恵器・瓦・三彩(奈良文化財研究所)
- 井戸杵・井戸出土遺物(泉大津市教育委員会)
- 埴仏・文字陰刻飯蛸壺(高石市教育委員会)
- 墨書土器(和泉市教育委員会)
- 墨書土器(和泉市教育委員会)